

# 協同デザインⅡ

選 択

開講年次：2 年次後期

科目区分：講義＋演習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：ユニバーサルデザインやデザインフォーオールなどの新たなデザインのためのアプローチを概観するとともに、インクルーシブデザイン・参加型デザインの意味と活用法を、事例を基に概観する。そこから得られた視点をもとに「学びのためのデザイン」をテーマにしたプロジェクトを想定し、さまざまな立場のユーザを考慮し協同デザインという視点からのアプローチを実践的に学ぶ。とくに「理解:共感」「観察:問題定義」「具体化:アイデア創出」「プロトタイピング:試作と改良」「実行と検証」というデザインシンキングを事例のひとつとしてデザイン手法を体験的に学ぶ。

■**到達目標**：①自分たちの生活の中で使われているさまざまな製品のデザインおよびそのデザインプロセスについて関心を持つ。  
②デザイン分野の違いや企業における業種業態の違いによるデザイン手法の共通点の特徴について理解する。  
③観察、課題発見、仮説の構築と提案、検証、評価の一連のプロセスの中での方法論を学ぶ。

■**担当教員**：

若林 尚樹

■**授業計画・内容**：

導入（基本となる考え方）

第 1 回 授業概要とガイダンス

インクルーシブデザインと参加型デザイン

第 2 回 調査と観察そして共感のための手法

試行（身近なテーマで考える）

第 3 回 調査と課題の発見（パーソナルなデザイン）

第 4 回 仮説の構築とコンセプトメイキングとアイデアの展開

第 5 回 アイデアの展開とデザイン提案

第 6 回 発表と講評

展開（一般化へのアプローチ）

第 7 回 調査と課題の発見1（参加型デザインと合意形成）

第 8 回 調査と課題の発見2（参加型デザインと合意形成）

第 9 回 仮説の構築とコンセプトメイキング

第10回 アイデアの展開

第11回 仮説を検証するためのプロトタイピング

第12回 検証と評価1

第13回 検証と評価2

第14回 発表と講評

第15回 振り返りとまとめ

■**教科書**：授業の中で資料を適宜配布する。

■**参考文献**：授業の中で適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：出席・授業態度・提出課題の結果を総合して評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
小テスト・授業内レポート	◎	◎	○	授業時間を効果的に活用して制作を行う	10
授業態度	○	○	○	授業時間を効果的に活用して制作を行う	10
発表			◎	課題条件にそった制作意図などを説明できる	20
作品	○	○	◎	出題条件にそった課題作品をすべて提出していること	40
出席	○	○	○	2/3以上の出席が必要	20

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：協同デザインI、アイデア生成プロセス

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：学外での調査、取材等もふくむ